

9/27 岐阜新聞(東濃)

# リニアのまち、情報交換

## 中津川市が相模原市民と懇談

リニア中央新幹線の神奈川県駅の建設予定地にある相模原市自治会連合会の役員らが、中津川市役所を訪れ、中津川市の自治会役員と懇談した。両市にはリニア車両基地が建設される予定で、将来のまちづくりや建設予定地域の悩みについて意見交換した。  
(青山和史)

神奈川県駅はJR横浜線など3線が乗り入れる橋本駅前の地下に整備される計画。相模原市によると、橋本駅から12、3キロほど離れた地域に車両基地が整備される見込み。住民からは観光活用やリニア回送線の旅客化、展望台の整備などの声があるが、具体的な動きには至っていない。

## 周辺整備、課題を共有

懇談には同連合会から坂本堯則会長や役員ら約20人が出席。青山節児市長は13日の本村賢太郎相模原市長との面談や中津川市のまちづくりに触れ、「相模原市の行政と情報交換を行い、車両基地の活用についても一緒にやって仕事をしていきたい」とあいさつ。中津川市の担当者がリニア岐阜駅周辺の整備計画について説明し、岐阜駅や車両基地ができる坂本地区の役員が行政との連携や住民側が抱える苦労を話した。

同連合会の役員らからはJR東海との交渉や移住定住施策などに関する質問があった。坂本会長は橋本駅周辺の地価の値上がりや人口増で地元が恩恵を受けているとして、「住民に自信を持たせる

青山節児市長(右端)から歓迎のあいさつを受ける相模原市自治会連合会の役員ら  
|| 中津川市役所



よつな説得力で事業を進めることができれば、坂本地区も中津川市も岐阜も発展すると思つ」と話した。